

7-13. 手足口病

I. 診断

1. ヒトエンテロウイルスA群（特にコクサッキーウイルスA16，エンテロウイルス71）が原因である。
2. 通常は臨床的に診断する。すなわち，手掌，手背，指間，足底，口腔粘膜，ときに下腿，膝関節，殿部に水疱性発疹をみとめる。
3. 特徴的な皮疹に加えて，中和試験（NT）などによる血清診断，遺伝子検査，ウイルス分離等でエンテロウイルス感染症を証明することが可能である。

II. 感染

1. 飛沫感染と接触感染により伝播する。
2. 潜伏期は5～6日。
3. ウイルス排泄期間は発症後1～2週（咽頭），発病後3～5週（便）。

III. 患者隔離（各部署対応）

発症してから5週間を経過するまで隔離（経路別予防策・隔離策：飛沫感染予防策，接触感染予防策参照）するか，あるいは退院とする。

IV. 2次感染予防の処置

1. エンテロウイルスは手指を介した接触感染あるいは飛沫感染する。特に，おむつ交換時には十分な注意が必要で，交換後には手洗いを励行する。
2. エンテロウイルスに対するワクチンは開発されていない。

感染制御部 石黒 信久
小山田 玲子
(H25.5作成・H28.5内容確認)